


Forest Good 2019 間伐・間伐材利用コンクール

応募申込書（間伐実践・環境教育部門）

※受付番号 **実践 1**

会社名・団体名等 **NPO 法人たけのこさいえんす**

取組の名称	環境問題を考えて木や竹で工作しよう！	
活動の種類	<input type="checkbox"/>	間伐の実践（間伐の実施・普及、集約化取組、間伐技術の開発・工夫、間伐材の販売など）
	<input checked="" type="checkbox"/>	環境教育活動（地域住民への普及啓発活動含む）
取組の概要・特徴	プラスチックが開発されるまでは木や竹などでいろいろな生活グッズを作っていました。プラスチックはとても便利で生活になくってはならないものですが、使い方によっては環境問題になってしまいます。地球規模で困っている環境問題について知り、わたしたちに出来ることを考えるためにこの取組みを行いました。	
取組のきっかけ、目的	兵庫県の木や竹などの間伐材の多くは燃料として活用されているということを知りました。地域の子もたちと環境問題を考えて木や竹で工作をすることで環境への関心や興味をもつきっかけとなることを目的に取り組みました。	
計画性・継続性	地域の子もたちを対象に3回のイベントを企画し開催しました。（6月、7月、8月）環境問題を考えた資料は環境省や林野庁のものを参考にし、工作の材料は、木は住友ゴムの緑化活動での間伐材、竹は住友ゴム市島工場とNPO法人淡路島の自然環境を守る会から提供していただいていた使用しました。	
実行体制・安全対策	安全対策としては、子どもたちに安全にもものづくりを楽しんでもらえるように主催者側で事前に材料を加工しやすいところまで準備し、子どもたちがのこぎりなどの道具を使うときは必ず大人がつくなどの工夫をしました。ケがなく安全に楽しくものづくりを行うことができました。	
取組の実績（年間）	環境教育：2回/年、延べ55人、幼児・小学生・中学生、活動エリアは神戸市周辺地域 参加した子どもたちと環境問題について考え工作することで、環境への関心や興味を持ってもらうことが出来たと考えます。 理由は、『木や竹を活用する』については間伐の大切さを知り、間伐材を利用する方法として机やいすにして人の暮らしに役立てるなど、『プラスチックの利用』については、スーパーで袋をもらわないとか使ったプラスチックはリサイクルするなどのたくさんの意見がありました。また提供していただいた木や竹を使って個性的でステキな作品が出来上がりものづくりを楽しんでもらえました。 参加者が子ども延べ55名、保護者延べ40名、サポート延べ25人と募集人数より多くの方に参加していただけたことから活動への興味関心がうかがえました。 毎月1回開催している実験教室の中で、ゴミの捨て方やリサイクルについて少しずつ環境勉強をしています。	
地域への貢献・波及性	地域の小学校にチラシを配布して活動への参加を呼び掛けている。 兵庫県や大阪府からの多くの地域から興味を持った方が参加している。	
活動に関する写真・図表等	 <p>竹を使ってもっくんを作っています。 左上：間伐材、右上：竹のけん玉、下：間伐材</p>	

連絡先等 (公表可能な範囲でご記入下さい)	(住所) 〒657-0028 神戸市灘区森後町1-5-11-601 (担当部署等) (電話番号等) TEL : 090-2062-4827 FAX : email: takenokokagaku@gmail.com (URL) http://takenokokagaku.com
--------------------------	--